



































チャレンジ項目記入数


















13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		アイシングループの経営理念を受け、年度ごとのスローガンを掲げ、会社方針の展開のもと、各機能(部門)へ展開・共有し、事業を運営している。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社内の内部統制を図る為、全従業員へのコンプライアンス遵守を浸透させる為の職場アクションプランを基に活動し、コンプライアンス委員会・リスク管理委員会・機密情報管理委員会で推進体制を構築している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為に関与しないことの周知については、グループの「独占禁止法遵守方針」にて該当部門・該当者へ定期教育・研修を行っている。 下請法順守について取引先へ案内し、互いに公正な取引を行っている。また、年に1回は購買担当者に教育時間を設け、テスト等で理解の促進を図っている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		2050年カーボンニュートラルを実現するための削減シナリオの作成と'20年から'25年までにアイシングループ全体で削減目標を立てている222項目の改善事例アイテムの実行を達成するために、安全環境部門と保全機能(部門)が連携し推進している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		特許、商標、著作権などの侵害排除については、アイシングループの本社と連携した活動で実施している。また、知的財産に関する勉強は、コンプラ研修の機会で実施している。(アイシンG企業行動憲章にて)								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		研修会・定期点検や機密管理ニュースなどで、情報漏洩防止を徹底している。 情報漏洩事故に対する具体的な対応策を示した、「機密情報管理規程(情報01)」に基づく「個人情報保護規程」を策定している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		ステークホルダーからの情報入手と共有化は、ステークホルダー(相手側)との対話を議事としてまとめたマーケティングカードにより行い、顧客の声(特に苦情)を大事にし、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。また、定期的なアンケート収集にて顧客満足度を評価している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●						5					8		10	12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		事業継続計画(BCP)を策定し、大規模地震対応ガイドに沿った初動対応訓練を年度毎に行っている。BCP活動の更なる向上に向けてグループ会社での活動をベンチマークした情報交流や地震避難訓練を行っている。熊本地震を忘れないためにパネル展や防災備蓄食・資機材を展示し、一人一人が防災意識(自助)を持つことを目的として全従業員を対象に行っている。										9		11		13.1		16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9								17
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8			12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		グループ内での人権方針に基づき、社内への展開による職場教育等を通して浸透を図っている。 差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則で制定している。差別やハラスメントに関する研修を実施し、社内相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		管理職以上による職場巡視や従業員の困りごとの吸上げ、リスクアセスメントによるリスク低減活動を行い、災害の未然防止活動を行っている。他のグループ会社での災害情報を全社で共有し類似災害の未然防止活動を行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に求める役割の明確化を図っている。 各種手当は正社員と同水準(法令)以上に統一している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		時間外および休日労働の累積に対する社内管理基準を設定している。 在宅勤務制度の導入、年次有給休暇の取得目標を設定している。 男性の育児を目的とした有給休暇を取得促進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		資格検定の受験料補助及び報奨金の支給を行っている。 推奨検定の社内勉強会開催を行っている。 教育体系を整備し、階層別教育を実施している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康経営優良法人(経済産業省)の認定を受け、活動している。 専用のアプリを使い全従業員を対象にウォーキングイベント等、健康増進活動を実施している。メンタルヘルスでは管理監督者に対しラインケア教育を実施し早期発見につなげている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		自動文字起こしアプリを導入し、テキストによるコミュニケーションがとれる環境を整備している。 職能資格基準をもとに評価し、障がいの有無に関係なく正社員登用や昇格を実施している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		感染症対策としてフレックス勤務やテレワークを導入している。 会議等でもウェブ会議を適宜利用して密にならないようにしている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	生産を停止させない工場のネットワークインフラの拡充とセキュリティ向上を行っている。 デジタルワークプレイスの充実を図っている。 カーボンニュートラル実現に向けた生産性向上による省エネを行っている。 業務品質/効率向上に向けたデジタル人材の育成を行っている。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	プライト企業認定されている。(2023年10月継続更新)			3	4					8	9		12						

チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物については、廃掃法順守はもとより電子マニフェストの導入月度実績管理を行い環境委員会において経営層へ報告を実施している。 有害化学物質についても各法令(毒劇法、PRTR法等)に基づいた管理・報告を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		アイシン連結第7次環境取り組みプランに基づいたエネルギー使用実績の把握を行うとともに、削減計画を立案し実行している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		SCOPE1・2について温室効果ガス排出量を把握し、中長期計画を立案し低減活動に取り組んでいる。 また、SCOPE3の一部についても今後を見据え現状把握を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		工場緑化を積極的に行い、また県内希少種についても熊本県と連携し積極的に保護活動に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		中長期計画を立案し、排出量の低減および再資源化の推進を積極的に実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		工場内で発生した排水についてはすべて社内の排水処理場で処理を行い、処理した水については積極的に再利用に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		投資を行う際は、LCAを考慮した投資を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	社内食堂の運営業務委託先(魚国総本社)と連携して、稼働停止時などは通常利用人数が出ないため、事前に従業員利用調査を図り情報共有して食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	敷地内緑化の維持・保全について、社内で予算を計上し、計画的に維持・管理を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	2025年度5月より、購入電力の15%を再エネプランで、九電と契約している。 2025度より太陽光発電にて全体電力の1.3%を活用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	2024年12月阿蘇市と「AISIN阿蘇の森」企業の森づくり協定書を締結し、'24年はボランティアで有志が集まり、0.4haの土地に植樹活動を行った。'24年～'29年までの5年間は森林整備活動として事業費負担を行う予定にしている。'25年度に森林吸収量認定申請予定としている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	アイシングループ全体で、2050年削減シナリオを作成、カーボンニュートラルに向けて各社設定した削減取組みを実施している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数		主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		品質至上を基本にお客様に安心してもらえる製品の提供、及び社内にて発生した不具合品の廃却低減活動による環境資源の保全、再利用の推進を行っている。(工程内不良撲滅活動推進)			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ハートフル駐車場や障がい者用トイレを設置している。 災害時に聴覚障害者がわかるようにバトライトを設置している。内容を知らせる文字起こし掲示板を設置している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		会社近隣(1km範囲)で地域一斉清掃ボランティア活動(2回/年)を行っている。 全国交通安全運動期間等で近隣交差点の交通立哨活動(5回/年)を行っている。 地域事業者として、地域の防災活動や自治会活動に参画している。 阿蘇満願寺保護区の希少種保護活動(希少種オグラセンノウ)を行っている。 ※2015年度より継続中	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		過去の地震や豪雨、大雪などの自然災害による経験を踏まえ、防災備蓄や防災グッズを常備している。また、ハザードマップを作成済である。 特に、有事の際の地震災害等に対応する保険に既に参加している。 ※従業員の安否登録の確認や避難経路再確認等の訓練は年1回は実施している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	25年2月、熊本県ならびに熊本県社会福祉協議会と「災害ボランティアセンターの運営支援等に関する協定」を締結し、同県内等で災害が発生した際、災害ボランティアセンター(以下、災害VC)の運営支援等が必要な場合において、熊本県社会福祉協議会からの要請に基づき、アイシン九州は市町村社会福祉協議会に対し、当社従業員(災害ボランティアコーディネーター養成研修受講者)を派遣し、地域の早期復旧活動に尽力することとしている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	SDGsの取り組みにおける基礎教育資料の掲示をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	インターンシップの受入(高校:5校 26名、支援校:2校 2名)を行っている。 キャリアコンサルタント(社内人材)によるキャリア教育(1校 38名)を行っている。 出前授業(2校 82名)を行っている。 近隣の中学校からのインターンシップ受入(4名)を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	県内工業高校に向けた卒業生との座談会(1校)を行っている。 高校生向けの積極的な工場見学の受入(5校 238名)を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。